

別紙 4

「塩谷町庁舎整備基本構想（案）」に関するパブリック・コメントの結果

- ◇ 意見等の募集期間：平成30年11月13日～平成30年12月12日
- ◇ 意見等の受付件数：6名
(提出方法の内訳：郵送3名、ファクシミリ1名、持参2名)

実施機関：庁舎建設準備室コメント

庁舎建設準備室では、平成30年11月13日～平成30年12月12日までの期間、「塩谷町庁舎整備基本構想（案）」について、皆様からの意見を募集いたしました。その結果、6名の方からご意見をいただきました。貴重なご意見等誠にありがとうございました。

町では、皆様からのご意見に対しまして、次のような考え方をまとめましたので、公表いたします。

1. 提出された意見等を内容により整理し、意見等の概要として掲載しています。

(1) 塩谷町庁舎整備基本構想（案）についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	町の考え方
1	<p>この度の、庁舎整備基本構想（案）についての意見・提言について何点か問いたく提出いたします。</p> <p>・去る11月28日の下野新聞に掲載された記事をみて、三会場で開催された参加者のあまりにも少なさに驚きました。町内外の多くの方々もみたと思います。</p> <p>・庁舎建設については、老朽化に伴い危険建物で早急に立て替える必要性は町民も理解していると思いますが、あまりにも唐突な進め方に問題があると思います。実質あと三年で完成を目指しているようですが、11月の町の広報誌に検討委員会のまとめやら建設計画及び建設地等々についての資料が配布され、その後区回覧による町民説明会のお知らせなど、ファクシミリや電子メールの活用など高齢者には無理な手法で聴取や周知伝達に無理・無駄・不周知に等しく思います</p>	<p>・説明会の開催については、庁舎整備基本構想（案）公表に伴う補完的な役割として開催しました。参加者数について、当該（案）の内容を概要版の配布によりご理解された方も多いためと判断しています。しかしながら、周知の手法等については、今後ともきめ細やかな情報提供に努めます。</p> <p>・庁舎整備についての進め方ではありますが、庁舎整備検討委員会での検討は、9か月間、10回の会議を開催し、検討委員のご尽力により、真摯な議論のもと、まとめたものであります。当該委員会は原則公開で、その検討状況は、「庁舎整備だより」等により、お知らせしています。構想（案）の公表と検討委員会答申結果のお知らせが同時であったことにつきましては、構想（案）策定作業を同時進行により進めてきたことによりましてご理解願います。今後とも完成に向けて、計画・設計段階において、慎重</p>

<p>ます。もう一度、完成年度は遅れても将来に汚点を残さない為にも町民の理解を得る為にも慎重に再考すべしと思いますが如何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あるところの会場では、検討委員会の町への答申は旧玉生中学校跡地が適地であるとのことにより職員が決定したとの事を伝えた説明には会場から異議の声が出たようでしたが、他の方々にはどのように理解しているのでしょうか。 （何故か、今まで行っていた旧玉生中学校での町民体育祭が今年中止になったのも庁舎建設からなのか。） ・少子高齢化により塩谷町に於いては、人口減少や高齢化が益々加速している現状から県内でも下位にあり、大型事業による起債借入もなく財政的には一段落しているとの説明のようですが、町の一大事業でもある庁舎建設（旧玉生中跡地）には建物建設費用の他関連する付帯事業等を考慮すると20億円をはるかに超えることが予想され、後に残す孫子達の将来を考えると費用の掛からない、アクセスの良い県道沿いの広々とした敷地、既存施設（旧塩谷高校）の再利用（リフォーム）が最良と思います。 <p>又、既存施設（旧塩谷高校）は多目的再利用庁舎（図書館、児童館、保健・介護拠点センター、議場会議室等々）には広い駐車場・広い緑地帯などいろいろなレイアウトが可能。完成すれば国体開催会場地塩谷町が県内外にも注目されるかと思いますが如何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上のことから、時間をかけても町民の声を是非アンケート無記名調査等何らかの方法で理解を得て方向付 	<p>な検討を行い、適切な情報提供に努め、理解を得ながら進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構想（案）を決定することは、町の事業計画で進めているものであり、町が（案）を作成し、町民に公表するものがあります。パブリックコメントによりご意見を伺うためには、当該（案）は作成することが必要になります。今後、ご意見を踏まえ、最終的な決定になるものがあります。 ・庁舎整備事業により町民体育祭が中止になったわけではありません。 ・事業費につきましては、あくまでも現時点における概算のものであり、今後、詳細な計画を定めていく中で、建設経費の縮減も含めた精度の高い事業費を定めていくこととなります。財源につきましても、将来を見据え、無理のないことを念頭に置き、検討していきます。旧塩谷高校の再利用になりますが、庁舎整備検討委員会においても十分な議論を行い、耐用年数が残りわずかであること、耐震改修・バリアフリー対策に費用がかかること、また、日々輝学園で利用していることなど、総合的に勘案し、候補地を選定しましたのでご理解願います。 ・庁舎整備につきましては、東日本大震災以降、様々なご意見がありました。今回、庁舎整備検討委員会による真摯な議論・検討から答申がなされ、その答申を尊重したうえで、塩谷町庁舎整備基本構想（案）を作成したところであります。現時点では、アンケート調査等の実施は予定しておりませんので、ご理解願います。 ・広報紙による意見の公表ではありますが、広報紙は町政全般にわたるお知らせになりますので、紙面の都合上、全文の掲載は困難であることをご理解願います。ま
---	--

	<p>けしてはどうか。(決定に困難であるならば各戸郵送による在宅投票や最悪には住民投票による決定等も考えられるのかな。)</p> <p>*以上、今回の庁舎整備基本構想(案)パブリックコメントに関する町への意見書については出された声を全ての方々何らかの形で住民に広報誌により公表することを願います。又町の今後庁舎整備に向けた見通し等についてお知らせ下さい。</p>	<p>た、広報紙が月一回の発行になりますので、時期的な調整も困難であります。広報紙以外の手法により意見の内容を公表します。今後の見通しについては、随時、様々な手法によりお知らせします。</p>
2	<p>11 / 24 塩谷町庁舎整備基本構想(案) 住民説明会に参加、庁舎整備検討委員会答申内容の説明を受けました、塩谷町としては今後詳細を検討、関係機関とも協議を行い決定することになるので質問させていただきます。</p> <p>塩谷町庁舎の現状を考え、新築あるいは移転は、喫緊の課題であることは理解しています。</p> <p>旧玉生中学校跡地に建設するのであれば、①水害対策は充分であるのか。説明では荒川は、堀込方式による河川であり、決壊の危険が少ない河川、また、上流部に2基のダムがあり、河川流量を適切にコントロールしているため安全性は高いと言っていますが、当地は国道461号の橋と県道63号線旧道の橋に近い場所に立地しています。</p> <p>最近では、岡山・広島の水害発生の際、下記のようなことがあったと報道されていました。水害の発生は橋梁に物が引っ掛かり、河川がせき止められることにより、洪水が起こることが多く、また、上流にあるダムの貯水量の増加によりダムに危険が迫った場合、放水されるための被害拡大が懸念さ</p>	<p>・水害対策については、ハード面及びソフト面の両面からの対応が必要になります。ハード面では、洪水時に円滑に流下させる河川整備であり、荒川圏域河川整備計画においても継続して整備を行うこととしています。また、最近の災害時のポイントとしては、情報収集及び情報伝達などのソフト面での対応が非常に重要となっており、栃木県を含めた関係機関との堅密な情報連携を行うことで対応していくこととなります。その上で、庁舎整備を行う側も、さらに安全性を確保するため、盛土等による対策を行い、補完していくこととなります。詳細は、計画・設計段階において効果的な対策を検討します。</p> <p>・地盤の確認等ではありますが、正式なものとは地質調査実施後の確認となり、隣接する給食センターの建設時データによりますと比較的浅い深さに固い地層があることから建物の建築に問題ないと判断しています。</p> <p>庁舎の規模になりますが、現時点では、国で示す基準により算出していますが、ご指摘のとおり、計画段階においては、将来を見据え、必要な機能を十分な精査をしたうえで規模を定めることとなります。</p>

<p>れている。</p> <p>町は、水害対策として庁舎の床を高くする等の対応を行うと説明しているが、安全性をもっと詳細に説明することを望みます。</p> <p>なぜなら、説明では大規模災害の際、庁舎に災害対策本部を設置し、敷地内に防災広場を設けるという構想であるというが、危険性のある場所では機能が果たせなくなってしまう恐れがあるからです。</p> <p>②地震に備え、庁舎の構造を免震構造・制震構造・耐震構造等を検討し、最適なものにするということですが、地盤の確認等安全面の説明も十分をお願いしたい。</p> <p>庁舎の規模等について、現在の職員数を基本に国土交通省、総務省の算定基準により算出するとしていますが、塩谷広報でも取り上げていましたが10年先には塩谷町の人口は半数位となることも考えられますので、町として独自に適正規模を検討して頂き、外装・内装とも華美にならず、機能を重視した建物にする配慮が必要かと思えます。</p> <p>③建設費については、説明会の中では詳細説明はありませんでしたが、25億程度を考えているのかと想定していますが、現在の積立金10億強に今後の積立金をプラスしても、不足分は10数億となることが想定され、地方債等で賄うとのことですが、当然借入金には利息ともども返済しなければなりません。(利子補給はある？と思いますが)</p> <p>将来の町民負担を、少しでも軽くするように、建設費節減の検討をお願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費につきましても、あくまでも現時点での概算になりますので、規模と同様に、建設費の縮減も念頭に置いた上で、定めていきます。 <p>人口減少に伴う税収の減少については、町の大きな課題であり、庁舎整備もその点を配慮しながら、進めることになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会の開催については、庁舎整備基本構想（案）公表に伴う補完的な役割として開催しました。参加者数について、当該（案）の内容を概要版の配布によりご理解された方も多いものと判断しています。しかしながら、周知の手法等については、今後とも広報紙等を活用しながら、きめ細やかな情報提供に努めます。 ・ご指摘の区長会など関連団体との連携・協調なども効果的な手段であると認識します。今後とも様々な手法により、町民の理解を得るため、意見聴取の進め方を検討していきます。
---	--

	<p>1 1月22日付下野新聞に掲載されていましたが、栃木県内自治体の財政危機が報じられていました。蛇足ですが、人口減少による将来の税収等の減収は自治体の大きな課題、庁舎建設とあいまった検討をお願いいたします。</p> <p>最後に、庁舎建設にかかる住民説明会の出席人数が少なかったが、今後説明会を行う予定はないとコメントしていることが新聞報道されていましたが、町民に対しどのような方法で周知するのかお聞かせいただきたい。</p> <p>広報しおや・庁舎整備だより等の書面によるものでは、町民との意見交換は不可能である、意見を聴取するのであれば、区長会等々関係団体との連携・協調が必要と思います。</p>	
3	<p>塩谷町庁舎整備基本構想(案)を拝見し、庁舎整備に至る経過等が詳細に記載されており、今後の基本・実施設計に期待いたすところです。</p> <p>なお、建設費の縮減については、最大限の努力をお願いするとともに、構想(案)の記載で追加したほうが良い点などを列挙いたしますので、ご検討ください。</p> <p>○2ページの2.庁舎の現状及び課題、必要性についての(2)庁舎の老朽化に関する現状と課題の整理の課題の中に、増改築や経年劣化による執務環境の低下も課題であるので、「職員の執務環境の向上」に関する記載があった方がよいと思います。</p> <p>○5ページの3-1上位関連計画との整合性の整理の中で、「新庁舎とまちづくり関係や都市再生の方向性を示します」としてはいますが、新庁舎がまちづくりや都市再生にどのように関わ</p>	<p>建設費の縮減については、財源等の検討の中でも、今後の段階において、十分な精査を行い、経費の節減に努めます。</p> <p>○「職員の執務環境の向上」については、現状と課題を整理する中で、町民の利便性を高めることにより、必然と執務環境の向上につながるものであり、今後の計画段階でさらに詳細に検討します。</p> <p>○庁舎整備事業は、大規模な事業となりますので、上位関連計画に位置付けることが必要になります。</p> <p>新庁舎とまちづくり関係や都市再生の方向性は、庁舎が行政機能のみでなくまちづくりの拠点としての機能を併せ持ち、今後の地域振興・地域発展の核となり、将来に向けて魅力ある持続可能なまちづくりを図ることでもあります。</p> <p>○周辺環境の配慮については、塩谷町の豊かな自然環境に配慮した色彩・意匠を検討することです。</p> <p>○執務スペースのレイアウト変更につい</p>

	<p>るのか記載していただければ、理解しやすいです。</p> <p>○15 ページの中に周辺環境に配慮したとしていますが、具体的な周辺環境を記載してほしいです。</p> <p>○16ページに「執務スペースのレイアウト変更に対応した」としてありますが、将来的なレイアウト変更に対応するものであるので、「対応できる」と表現した方が良いかと思えます。</p>	<p>ては、将来に向けて、組織機構の改編などに対応可能な庁舎のことであり、「できる」の表現も可能です。</p>
<p>4</p>	<p>新庁舎整備 基本構想について</p> <p>① 耐震工事をすれば、建設費約25億円よりも安価で済むのでは？</p> <p>② 建設候補地の5カ所（旧玉生中学校、旧大久保小学校、旧船生西小学校、現塩谷町役場、庁舎、旧塩谷高等学校）が、なぜ、旧玉生中学校に選定なのか？なぜ旧船生東小学校が入っていないのか？</p> <p>候補地選定の流れについても旧玉生中の跡地に建設ありきに見えます。旧小学校にしても耐震工事をすれば、建設費約25億円よりも安価なのは？しかも各教室を各課に振り分ければ済むのでは？例えば、校長室を町長室に、会議室を議会場にするなど。いくらでも活用できるのでは？こんなに校舎が残っているのに、ほとんど利用活用されているとは思えないほどで、本当に、もったいない。こうした小学校を耐震工事をすれば十分に庁舎として機能するのでは？</p> <p>1回目、2回目の絞り込みについても7項目・4項目とありますが、中心性とは？利便性とは？安全性とは？町民のほとんどが車を利用しています。旧玉生中学校の跡地だけでなくも済むのでは。いずれかの小学校</p>	<p>①現庁舎は、耐震診断を実施したところ、老朽化が激しいため、耐用年数も短く、耐震工事の効果がないと判断していません。</p> <p>②庁舎整備検討委員会において、5箇所の建設候補地における条件等の資料を提示し、多角的な要件から詳細に比較検討を行い、総合的な判断により候補地の選定に至ったものであります。</p> <p>旧船生東小学校につきましては、現在、生涯学習センター・図書館として活用されていますので建設候補地には含めていません。</p> <p>災害については、無いとは言い切れませんが、必要な対策を講じることにより、対応を図ることとなります。ハード面では、洪水時に円滑に流下させる河川整備であり、荒川圏域河川整備計画においても継続して整備を行うとしています。また、最近の災害時のポイントとしては、情報収集及び情報伝達などソフト面での対応が非常に重要になっており、栃木県を含めた関係機関との堅密な情報連携により対応していくこととなります。その上で、庁舎整備を行う側も、さらに安全性を確保するため、盛土等による対策を行い、補完していくこととなります。詳細は、計画・設計段階において効果的な対策を検討します。</p>

<p>でも充分かと、どの校舎が新庁舎になっても問題ないのでは。新庁舎が造られたからといって、サービスが向上するとは思えない。</p> <p>そもそも1年間に町民一人あたり、どれだけ町役場を利用するのか？</p> <p>確定申告、税金の支払い、証明書の申請……。数えるほどしかないのでは？</p> <p>超高齢化社会になっていく中で利用者が増えるのか？</p> <p>旧玉生中学校の跡地の隣には、荒川の河川があります。防災拠点ともありますが、昨今の地震・水害等々を鑑みても、果たして防災拠点になりうるのか甚だ疑問です。災害がないと言い切れるのか？</p> <p>東日本大震災（地震）しかり西日本豪雨災害（水害）しかり。河川氾濫ともなれば、完全な機能麻痺に陥るのでは？</p> <p>自然災害への対処・対策が不十分なのでは？</p> <p>そうなった時に新庁舎など、一溜まりもないのでは？</p> <p>専門家ならば、わかっているのでは？見識があるはず。もしも、そうなったとき（水害災害など）には責任は？その方達（専門家）が賠償してくれるのか？本当に疑問です。25億円。莫大です。</p> <p>③ 町の人口減少が続く中で、莫大な金額を使って、新庁舎を建設する意味とは？</p> <p>現在、町の人口は県内最下位。市貝町にも抜かれてしまい最下位。</p> <p>減少する一方で、これ以上増える見込みはないのでは？</p> <p>魅力のある町になっているのか？</p> <p>④ 若い世代に、多くのツケを背負わ</p>	<p>③現庁舎の老朽化が顕著であることなど、行政サービスの向上を図るため、庁舎整備は、緊急を要する課題となっています。</p> <p>人口減少の中においても、必要な行政サービスを確保するため、将来を見据えた上で、庁舎整備に取り組めます。</p> <p>④健全な財政運営を維持し、その他事業に及ぼす影響を抑え、町民サービスの低下を招かないように財源の確保を行います。地方債においては、世代間公平の負担を考慮しますが、過度な後年度への負担を残さないよう配慮した活用を図ります。</p> <p>⑤地方債の償還計画は、その借入時に定めますが、実際の事業費とその時点における財政の状況により、返済可能な借入額及び償還期間を検討します。</p> <p>⑥廃校となった小学校の建築物など活用されていない遊休財産の活用は、大きな課題であり、今後とも効果的な活用方法を検討します。</p> <p>⑦現時点では、庁舎整備事業を進めるにあたって、基金の積立など財源確保に向けて必要な準備を進めており、税収は増えていませんが、無理のない事業執行が可能と判断しています。</p> <p>⑧説明会の開催については、庁舎整備基本構想（案）公表に伴う補完的な役割として開催しました。参加者数について、当該（案）の内容を概要版の配布によりご理解された方も多いものと判断しています。しかしながら、周知の手法等については、今後とも広報紙等を活用しながら、きめ細やかな情報提供に努めます。</p>
--	--

	<p>せる（負担させる）ことへの抵抗は？</p> <p>現在の塩谷町の人口約1万人に対して成人・大人約9000人以上//小人・子供たち約1000人未満（しおや広報誌）</p> <p>→30年後に約8000人！？</p> <p>→50年後に約5000人！？</p> <p>こうなったときに、この借金・町負債をどうしていくのか？</p> <p>具体的に情報開示を。自分たちが、いなくなったあとのことを、もっと真剣に考えなくてはならないのでは？考えるべき。</p> <p>⑤ 極論ですが、現在の小学校（3校）と中学校（1校）に通う生徒たちだけで、返済可能</p> <p>なのか？ 税金は減少の一途なのでは？</p> <p>今回の新庁舎のことだけではなく、これから先の塩谷町の税金は？</p> <p>新庁舎に税金を使うべきではないでしょうか？この町には、大きな総合病院もなければ、ショッピングセンターもありません。そのため、行き先は、隣町。</p> <p>これでは不便すぎる。なにより交通の便が悪すぎる。デマンドバスは機能しているのか？車が無ければ通えないのが現状。</p> <p>新庁舎が出来ても、こうしたことが解消されるのでしょうか？</p> <p>大きな病気や怪我也出来ません。頼るのは、町外の病院なのでは。</p> <p>⑥ この先、人口減少が続いていくと、旧玉生中学校・旧大宮中学校・旧船生中学校が統合</p> <p>して塩谷中学校が出来たように、現在の玉生小学校、大宮小学校・船生小学</p>	
--	--	--

校が統合されてしまったときにも、また新しい校舎を建設することになってしまうのではないか？このままだと小学校も、一つになってしまうのでは？

とにかく箱物が多すぎる。こんなにも校舎が残っているのに。

税金の無駄にはならないのか疑問。甚だ疑問。

例えば、旧塩谷高等学校が塩谷中学校でも良かったのでは？時期を見誤ったのでは？

高校再編とはいえ、人口減少や利便性などに原因があるのでは？

なぜ、隣町の矢板市、日光市（旧今市市）の高校は無くならなかったのか？

（再編されなかった）のか？

こうしたことから果たして新庁舎は本当に必要なのか？

⑦ 現在の町の税収が約80億に対して、新庁舎に約25億円も掛ける意味があるのか？税

収の3分の一に相当している。本当に必要なのか？

例えば、那須塩原市・・・税収 約400億円===人口約11万人

矢板市・・・税収 約120

億円===人口約3万2千人

さくら市・・・税収 約18

0億円===人口約4万4千人

ところならまだしも、塩谷町にそんな余力のようなものがあるとは到底思えない。税収は増えているのか？税負担の増につながるのでは？

⑧ 先日の下野新聞には衝撃的な記事が掲載されていた。住民説明会に、ほとんどの参加者

がいない、と。これが現状なのではないのか？現実を直視していないので

	<p>は？事前の周知不足だけではない原因があるのでは？</p> <p>本当に町民は望んでいるのか？約1万人の町民に果たして、どれだけの人がこの構想を実際に知っていて、理解しているのか？住民の総意と言えるのか？</p> <p>たくさんの疑問・不安が残ったままになっているのでは？</p> <p>なぜか新庁舎ありき建設ありきで物事が進んでいるようではない。</p> <p>本当に必要なものなのかどうか再度議論の余地があるのではないのでしょうか？拙速の感が否めない。新庁舎は必要ないのでは？必要なしで！</p> <p>もったいない！に尽きる。もっと別のことに使うべきである。</p> <p>付度なしで・・・お願いします。</p> <p>以上</p>	
5	<p>1. 塩谷町庁舎整備基本構想（案）に対する説明会開催について、大宮会場実質1名、塩谷中アリーナ参加者0名により中止、この状況について塩谷町役場庁舎建設準備室においてどのような反省また今後町民に十分な説明をして理解を求める為の方策をお聞きしたい。</p> <p>2. 説明会の内容には矛盾するものが多々あった、塩谷町庁舎整備検討委員会の意見書の説明はあったが、整備検討委員会の意見が反映されていない内容であった、塩谷町庁舎整備検討委員会では諮問事項2庁舎の整備位置に関する事について、旧玉生中学校跡地について浸水対策として、さらに安全性を高めるため、必要な対策を実施することとし、大雨により上流に位置する二つのダムの放流等により建設</p>	<p>1 説明会の開催については、庁舎整備基本構想（案）公表に伴う補完的な役割として開催しました。参加者数については、当該（案）の内容を概要版の配布によりご理解された方も多いためと判断しています。しかしながら、周知の手法等については、今後とも広報紙等を活用しながら、きめ細やかな情報提供に努めます。</p> <p>2 構想（案）は、庁舎整備検討委員会の答申結果を反映し作成したものであります。</p> <p>浸水対策については、ハード面及びソフト面の両面からの対応が必要になります。ハード面では、洪水時に円滑に流下させる河川整備であり、栃木県で策定した荒川河川整備計画においても継続して整備を行うとしています。また、最近の災害時のポイントとしては、情報収集及</p>

予定地に隣接する荒川が増水した場合に対する対策を求める内容が明記されているが、塩谷町庁舎整備基本構想(案)ではその件の明記が無く質問に対しては今後考えるとのお粗末な説明であった、塩谷町庁舎整備検討委員会の意見は最重要事項として最も重視すべきものである、それに対する対策は重要なものであるはずであるがそれらを無視した塩谷町庁舎整備基本構想(案)及びその質問に対する答弁としては問題がある。

荒川からの浸水対策は大きな予算を伴うものでありその予算を加味しない事業計画には問題があるのでは、その対策費用を考慮すると資金計画に大きな影響を及ぼすはずであり、建設地の選定にも大きく影響するはずである、建設地の選定に関しては建設に関する費用も考慮して決めたと説明があったが、塩谷町庁舎整備検討委員会の要望を加味して予算を計上して建設地の選定からやり直すように強く求めるものである。

過去に塩谷町町民は大きな苦い経験を味わっている、塩谷町統合中学校(現塩谷中学校)建設に関して何回かの説明会において、日射の影響を少なくする対策として現校舎南側及び西側の大木は伐採して低木を植栽するとの説明であったが未だ履行されないままである。

町道芦場大宮線から学校建設地に入る角地に大駐車場を設置するとの説明であったが一向に実現しないままである、総合運動公園関係の工事を終了する旨の案内があり町民の意見が求められたので、現在駐車場が十分と思っている人は1人もいないと思う

び情報伝達などソフト面での対応が非常に重要となっており、栃木県を含めた関係機関との堅密な情報連携が行うことで対応していくことになります。その上で、庁舎整備を行う側も、さらに安全を確保するため、盛土等による対策を行い、補完していくことになります。詳細は、計画・設計段階において効果的な対策を検討します。

塩谷中学校建設も大規模な事業であり、多くの課題を解決しながら進めた事業であります。

庁舎整備事業においても、今後、様々な課題を解決しなければならないものであり、町民の方のご理解を得ながら、慎重かつ適切に事業を推進することになります。

今後は、計画及び設計などにより詳細な事業計画を策定する予定であり、委員会の答申結果を踏まえ、充実した検討を進めていきます。

	<p>ので、塩谷町統合中学校（現塩谷中学校）建設の説明会において約束した駐車場の設置を求めて書面にて意見書を提示したが一切の回答の無いまま現在に至っている。</p> <p>当時塩谷町統合中学校（現塩谷中学校）建設に関しての説明担当者は塩谷町町長であったと認識しているが如何でしょうか、また現町長は駐車場を設置するとした該当地の地権者の1人であったはずであり町の対応を求めるものであり、今回は二度と町民の信頼を無くさないように塩谷町庁舎整備検討委員会の答申を尊重して答申の内容を十分に盛り込んだ事業計画を策定して建設地の選択からの再考を強く希望するものである。</p>	
6	<p>① 中心性の町民居住地については、理想的な位置は原荻野目付近 JA 塩谷支店付近であろうと思う。また、中心性の敷地の大きさについては、現庁舎は小さ過ぎる、旧玉生中学校跡地は大き過ぎる、旧塩谷高校跡地は理想的な面積 33,048㎡である。</p> <p>② 経済性の庁舎建設費用についてはどこに新築しても同じと思う。また、経済性の付帯道路については、旧玉生中学校跡地は有効な道路が3路新設必要、旧塩谷高校跡地はそれ程新設路必要ない。経済性の敷地整備等については、現庁舎は借り地が多く形が悪い、旧玉生中学校跡地は盛り土が必要、旧塩谷高校跡地は必要ない。</p> <p>③ 利便性の町民居住地から見てについては、現庁舎は良い、旧玉生中学校跡地はやや離れている、旧塩谷高校跡地はやや離れている。</p>	<p>3候補地における現状分析・比較検討など貴重なご意見として承ります。</p> <p>庁舎整備検討委員会における検討状況をふまえ、以下に示します。</p> <p>①中心性は、国勢調査結果における人口重心を用いて、直線距離から比較し、現庁舎との近接性も考慮しました。</p> <p>②経済性は、候補地において適した整備手法を考慮の上、比較検討を行いました。付帯道路は、次の段階において有効な手法を検討します。整備費用についても、さらに詳細な検討を進めます。</p> <p>③利便性は、公共交通機関、交通アクセスなど住民の利便性を考慮し、旧玉生中学校跡地は国道461号及び主要地方道藤原宇都宮線の結節点に近接しています。</p> <p>④連携性は、地域間の連携、バランス、他の施設との連携を考慮し、他の公共施設集約の可能性を考慮しました。</p> <p>⑤緊急性は、早期事業着手の可能性を比較しました。</p>

<p>また、利便性の県道については、旧玉生中学校跡地は国道461だけである、旧塩谷高校跡地は県道68と県道74号がある。</p> <p>④ 連帯性の塩谷消防署については、現庁舎は近い、旧玉生中学校はやや離れている、旧塩谷高校跡地はやや離れている。連帯性の警察署については、旧塩谷高校が一番近い。連帯性の他官庁等県庁については、旧塩谷高校跡地が一番近い。矢板IC上河内ICについては、一番近い。</p> <p>⑤ 緊急性の豪雨災害については、旧玉生中学校は荒川堤防近く心配。また、緊急性の地震対策については、どこでも同じ。</p> <p>⑥ その他の解体費用については、旧玉生中学校跡地は1億数千万かかった、旧玉生中解体費用程度であろう。その他の町民の町外勤務については、宇都宮市、矢板市、さくら市の順であろう。その他の職員の休憩所については、旧玉生中学校跡地は新設が必要である、旧塩谷高校は現在の建物を利用して新築の必要ない。その他の近隣については、旧塩谷高校跡地は上河内新築住宅が多い。その他の推測される居住地については、現庁舎及び旧玉生中学校跡地は大宮地区が比較のおおくなるだろう、旧塩谷高校跡地は防火水槽整っている。</p> <p>⑦ 人口減については、10,500人が7,500人に成る時は直ぐである。</p> <p>以上のことから、私は元塩谷高校跡地が費用の面立地の面から見て最適と</p>	<p>⑥、⑦は比較検討の視点として新たなものであり、その比較は実施していません。</p> <p>構想（案）における庁舎整備の位置については、様々な要件のもと多角的に比較検討を行った上で、総合的に勘案した結果、定めたものであります。</p>
--	---

	思いますので提言いたします。	
--	----------------	--

◇問い合わせ先：庁舎建設準備室

TEL：0287 - 47 - 5171

FAX：0287 - 45 - 1045

電子メール：

tyousya@town.shioya.tochigi.jp